

2 県施策の推進状況評価

(1) 創造的市民社会

健康づくりや、ひきこもり支援、子育て環境の充実など医療・福祉サービスの基盤整備が進展している。また、地域・企業が参画する学校教育など、多様な社会で活躍する人材育成が展開されている。

【将来像1】 人と人のつながりで自立と安心を育む

- ひょうご出会い支援事業による成婚数[R1：135組→R2：127組] (R2目標：200組)
- いのちとこころのサポーター推進リーダー養成数 [R1：38人→R2：153人] (R2目標：35人)
- 地域安全SOS 適切な関係機関へのつなぎ件数 [R1：640件→R2：672件] (R2目標：600件)

【将来像2】 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する

- 健康づくりチャレンジ企業登録社数 [R1：1,681社→R2：1,866社] (R2目標：1,300社)
- ひきこもり者の居場所を設置した市町数[R1：3市町→R2：12市町] (R2目標：10市町)
- 学校・地域での伝統文化体験教室開催回数(累計) [R1：85回→R2：96回] (R2目標：90回)

【将来像3】 次代を支え挑戦する人を創る

- 保育所待機児童数 [R1：1,528人→R2：769人] (R2目標：0人)
- 認定こども園の認可・認定数(累計) [R1：553園→R2：579園] (R2目標：545園)
- 高等学校の課題研究に参画した外部人材数(延べ) [R1：163人→R2：443人] (R2目標：120人)

※ 目標値は「兵庫県地域創生戦略」及び「活力あるふるさと兵庫実現プログラム」に基づく。以下同じ。

【達成されなかった項目の今後の取組】

- ・ 出会い支援による成婚数を増やすため、県内民間企業への結婚支援に関する情報提供や、利用者増加に繋がったスマホ婚活システムの活用等により、出会いの機会の一層の充実を図る。
- ・ 待機児童数は、引き続きゼロを目指し、市町や関係者と協議を重ねながら、都市部での小規模保育の展開など、地域のニーズに合わせて保育所等の定員拡大や保育人材確保を進める。

(2) しごと活性社会

起業環境の整備や、多様な企業の農業参入促進等の取組が展開されている。また、ひょうご・しごと情報広場や若者しごと倶楽部を通じて就業機会の提供が進んでいる。

【将来像4】 未来を拓く産業の力を高める

- 起業プラザひょうご会員数[R1：93人→R2：114人] (R2目標：80人)
- コワーキングスペース開設支援件数[R1：12件→R2：21件] (R2目標：15件)
- 外国・外資系企業進出支援件数 [R1：19件→R2：7件] (R2目標：25件)

【将来像5】 地域と共に持続する産業を育む

- 異業種交流グループ支援件数 [R1：26件→R2：49件] (R2目標：40件)
- 「五つ星ひょうご」認定数 [R1：68商品→R2：74商品] (R2目標：50商品)
- 県内宿泊客数 [R1：1,442万人→R2：898万人] (R2目標：1,450万人)

【将来像6】 生きがいにあふれたしごとを創る

- 「ひょうごで働こう！マッチングサイト」を通じたマッチング件数 [R1：11件→R2：112件] (R2目標：100件)
- 企業等向け障害者の在宅ワーク推進セミナー参加者 [R1：378件→R2：322件] (R2目標：180件)
- ワークライフバランス推進宣言企業(累計) [R1：2,218社→R2：2,706社] (R2目標：2,224社)

【達成されなかった項目の今後の取組】

- ・ 海外企業誘致プロモーションが難しくなる中、国内外資系企業本社への訪問やWEBでの誘致活動、海外事務所と連携したオンラインセミナーなどPR策の充実を図る。
- ・ 渡航制限などツーリズムへの影響に対応し、兵庫五国の特色を活かした体験型観光コンテンツの開発、ワーケーションの推進、観光産業の感染防止対策の徹底など、ポストコロナ時代の新たな観光モデル創出を推進する。

(3) 環境優先社会

子どもたちへの体験教育の機会が充実するとともに、低炭素技術の導入が進んでいる。また、防潮堤の補強延長や防災アプリの普及など、災害に備えるハード・ソフト両面からの取組が進んでいる。

【将来像7】 人と自然が共生する地域を創る ○幼児向け環境体験プログラム実施園数（累計） [R1：63園→R2：423園]（R2目標：450園） ○ひょうごの木の家設計支援件数 [R1：102件→R2：106件]（R2目標：100件） ○コウノトリ野外個体数（累計） [R1：176羽→R2：217羽]
【将来像8】 低炭素で資源を生かす先進地を創る ○住宅用創エネ・省エネ融資、HEMS補助、家庭用蓄電池補助の合計件数 [R1：978件→R2：642件]（R2目標：500件） ○うちエコ診断実施件数 [R1：10,390件→R2：11,235件]（R2目標：10,000件） ○水素ステーション立地件数 [R1：2箇所→R2：3箇所]（R2目標：8箇所）
【将来像9】 災害に強い安全安心な基盤を整える ○防潮堤の補強延長（累計） [R1：6.4km→R2：6.5km]（R2目標：6.5km） ○防災アプリダウンロード件数（累計） [R1：96,627件→R2：153,240件]（R2目標：150,000件） ○草の根意識啓発の実施数（累計） [R1：143,325戸→R2：178,122戸]（R2目標：173,000戸）

【達成されなかった項目の今後の取組】

- ・幼児向け環境体験プログラムについて、コロナの影響で目標を下回ったが、プログラム内容の充実を図るとともに感染症対策を講じながら実施園の確保に努める。
- ・水素ステーション設置は、4年ぶりに1箇所（姫路市）新設されたものの、首都圏への設置が優先され、目標達成に至らなかった。水素ステーション設置やFCV・FCバス導入に対する補助のPRに努めるとともに、大阪・関西万博を見据え、水素ステーション設置企業に対する働きかけを進める。

(4) 多彩な交流社会

地域の自立を支えるボランティアなどの活動が広がるとともに、暮らしや産業・交流の基盤となるインフラの老朽化対策等が進展している。また、海外との交流では、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた一方、留学生への支援や外国人県民等への相談支援など、世界との交流・多文化共生の取組が進んでいる。

【将来像10】 地域の交流・持続を支える基盤を整える ○自主運行バスの立ち上げ支援数 [R1：24件→R2：26件]（R2目標：23件） ○ふるさとひょうご寄附金寄附件数 [R1：1,695件→R2：1,330件]（R2目標：1,600件） ○老朽化対策を完了した橋梁数（累計） [R1：80箇所→R2：262箇所]（R2目標：162箇所）
【将来像11】 個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す ○「がんばる地域」交流・自立応援事業実施地区数 [R1：33地区→R2：28地区]（R2目標：28地区） ○ふるさと応援交流センターを通じたボランティア研修参加者等 [R1：2,573人→R2：1,983人]（R2目標：1,000人） ○空き家・空き店舗を活用した起業・創業件数 [R1：30件→R2：28件]（R2目標：34件）
【将来像12】 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ ○私費外国人留学生への奨学金支給人数 [R1：164人→R2：163人]（R2目標：150人） ○ひょうご多文化共生総合相談センター相談件数 [R1：2,868件→R2：3,630件]（R2目標：2,800件） ○東京リビッパ・パリリビッパ・ラグビィワールドカップ事前合宿の招致件数（累計） [R1：10件→R2：10件]（R2目標：5件）

【達成されなかった項目の今後の取組】

- ・ふるさとひょうご寄附金の実績の低調な事業について、収入確保計画を策定し、進行管理を行うとともに、PRの強化や返礼品の内容充実を図るなど、寄附獲得に向けた取組を推進する。
- ・空き家活用による補助上限額の増額など、メリットを含めて助成制度を県内外に周知し、空き家を活用した起業・創業を促進していく。